



社会新報 (岡山県連合版)

2014年7月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
TEL:03-3592-7515 1部180円(月700円)千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp.okayama@helen.ocn.ne.jp

2014原水禁平和行進と 島根原発再稼働反対集会

7月20日(日) さよなら島根原発大集会
松江市くまびきメッセ 弁当1,000円
岡山駅西口バス9:30~現地13:00
松江市17:00~岡山駅西口20:30

7月21日(月) 原水禁平和行進
8:30岡山・大井公園集合(市役所南)
岡山市役所~岡山市妹尾公民館12:00

7月27日(日) 東平和センター
平和行進 5時10:00~大門(福山)
岡山~広島 引継ぎ式

8月4~5日 原水禁世界大会(広島)

岡山県北における米軍機 低空飛行訓練現地調査

先ず、飛行情報
が寄せられた一帯
が一望できる湯原
ダムから現地の地
形を視察。米軍は
中国地方の山間地
を縦断する「ブラ
ウンルート」と称
する飛行訓練経路
を設定、朝鮮半島
を想定した低空飛行訓練を行
っているという。



湯原ダムえん堤から温泉街望む6/8

去る5月30日、県北・真庭市の「湯原温泉」周辺でアメリカ軍とみられる航空機(戦闘機)が超低空を飛行し、ものすごい爆音がしたとの目撃情報が出た。これに抗議され、県連合にも数名の目撃者から情報があった。社民党岡山県連合は6月8日、現地調査を行った(報告・1区・宮原晴平)

今回の飛行は1機で、調査では艦載機A18(ホーネット)とみられ、ダム湖西側の谷間から進入、その後温泉街真上を詠めるように低空を飛行。旭川沿いに東に向って飛び去ったようだ。

湯原温泉街に響く爆音

その後、近隣住民の協力を得て話を聞くことができた。付近の商店主は「当日の朝、店の裏で洗濯物を干していた(耳の遠い私でも聞こえるくらい)のものすごい爆音にビックリし慌てて表に出たら、

県北で頑張る党員の声かけて 自然に燃れ合う交流の日

県北はいまが新緑、涼の木の花が咲く6月8日、ミツバチの生態を学び自然に燃れ合う旅にかけた。県北の党員川上さんからの声掛けで計画していたもので、池田・矢吹西平・山地の4人が参加した。ミツバチの巣箱は、父親から引継ぎ守っているもの。週末の見回りは仕事のストレス解消には最高、ハチミツはみんなに分けて喜ばれているという。巣箱の観察では、顔を近づけて群がるハチの中から女王蜂を探したり、手回しの遠心分離機を回すと、次から

戦艦機が肉眼で十分見えるくらいのところを飛んでいた」「谷に沿って右に左に機体を傾けながら飛んでいて、山にぶつかりそうで恐ろしかった」。他の何人かからも、「飛行したのは温泉街の真上」「今回ほどではないが、日頃から飛行訓練が行われており、騒音はすさまじい。旅館やホテルの従業員は予約の電話も聞

各支部連合が工夫し行動に 3区一人でも看板掲げ街頭に

6月7日、党県連合常任幹事会は①「集団的自衛権の行使容認」阻止に向け宣伝力アップ、②ピラ1万枚各戸配布、③統一自治体選挙・衆・参の3大選挙向カバン、④岡山市選挙の取り組み、⑤原水禁などの諸活動を討議。何とし



次へとピツクリするほどハチミツが出てきた。またソバ打ち体験も初めてで、簡単なようだけれど、手のひらに力を入れなくては良いソバは打てない。汗を流した甲斐あつてか、自分が打ったソバとは思えないほど美味しい出来栄であった。県北で頑張っている党員と交流し、新鮮まぶしい自然に元気をもらい、ソバの味とお土産のハチミツを手に入れた日曜りの旅となった。(矢吹・池田)

県連合活動日誌 (住6月活動と7月計画)

- 6/2 原水禁県民会議 平和行進・広島大会に向けて
- 6/7 党県常任幹事会
- 6/9~ 各支部連合が選交代し街宣車運行 ~継続中~
- 6/18 5区支部会議・武本幹事長参加
- 6/20 弓之町・時事問題懇話会
- 6/24 1・2区党員会議・福島代表参加
- 6/25 統一街宣行動(岡山駅前)
- 6/25~30 6・29岡山市市民平和祭参加(天満屋)
- 6/29 1・2区統一行動 ピラ各戸配布行動
- 7/1 緊急街頭宣伝(各党へ呼び掛けて実施)岡山
- 7/12~13 党中国ブロック活動交流会(庄原市)
- 7/20 島根原発再稼働反対集会(松江市)

粘り強く声を上げる

「わざわざと聞き流すことか?」と進まない改善にいらだちにも似た声もあつた。県民の声に「監視の目を光らせること」が重要といえよう(6・8記)



でも「戦争をさせない世論の盛り上げに全力をかける」とを確信。

1・2区支部は、6・28ピラ配布行動を実施、すでに3千枚以上配布した党員も! 藤田前代表は連日、一人で看板掲げて街頭に立っている

「新報」読者会
7月8日(第2火) 18時
7月18日(第3金) 18時
※いずれも党県連合会議室

自動車のライトアップ運動がある。遠くを照らすことで危険予知に役立つという。しかし、歩行者自転車などにとっては遠くからでも「目くらまし」となり、一方で快速な運転が他方には危険を押し付けることになる。いま安倍政権は、集団的自衛権の行使容認を「何が何でも形だけは通す」ため、強引な運営がすすむ。「自衛隊の諸君に愛する家族がいることを知っている」「憲法を守つても国民を守れない現状はおかしい」など、感情に訴え自己陶酔する言葉に国会のリベラル派もかすむ。良心・知性・誠意はどこへいったのか。あなたは人間なのか(浜矩子)。「戦争で死ぬことが、この国から動かせないものになる危険が迫っている」(大江健三郎)。自分の頭で考えることを放棄し、自らを正当化する題目さのしがの政変・議員への痛烈な批判である。戦争に動員されていった歴史や当時最も民主的といわれた「ワイマール憲法」がナチスの全権委任法によって事実上停止した歴史の教訓に学ぶのは、子どもたちの未来のため、いま生きるものの責務である(の